

### 出来秋本番へ 収穫期到来!!

7月29日に収穫を終えた小麦は、約600haの一般きたほなみの粗麦推定数量が約8万俵、10aあたり13.22俵（製品推定数量は約7万2千俵、10aあたり11.90俵、製品推定歩留り90%）となっております。前年と比べ粗麦数量は反収3.03俵上回る見込みとなっております。

種子きたほなみについては、約52haで粗麦推定数量が約7千百俵、10aあたり13.60俵（製品推定数量は約6千4百俵、10aあたり12.24俵、製品推定歩留90.00%）となっており、前年と比べ粗麦数量は反収2.92俵、製品数量は反収1.99俵上回る見込みとなりました。

8月12日には、3年産種子小麦（きたほなみ）の等級鑑定検査が札内農協加工センター内米麦改良協会検査場で行われ、品位検査の結果、一等級と評価されました。



用途別	面積 ha	粗麦推定数量 俵	製品推定数量		規格外 俵
			俵	歩留 %	
一般きたほなみ 【反収】	602.65	79,656 【13.22】	71,690 【11.90】	90.00	7,966 【1.32】
前年		(10.19)	(9.74)	(95.54)	(0.73)
種子きたほなみ 【反収】	52.13	7,090 【13.60】	6,381 【12.24】	90.00	709 【1.36】
前年		(10.68)	(10.25)	(95.56)	(0.48)
合計 【反収】	654.78	86,764 【13.25】	78,071 【11.92】	90.00	8,675 【1.32】
前年		(10.23)	(9.78)	(95.54)	(0.46)

馬鈴薯については8月12日に本組合の坪堀り調査が行われました。結果を見ると、男爵の規格内俵数は42.9俵、メイクインは47.3俵、トヨシロは61.8俵となっています。全品種において、規格内俵数は前年より低くなっています。ライマン俵については、男爵は13.6%、メイクインは12.2%、トヨシロは15.2%となっており、トヨシロは前年より高くなりましたが、それ以外の品種につきましては前年より低くなっています。でん粉原料用専用品種のコナヒメにつきましては、10a当たり総俵数が56.5俵、ライマン俵16.6%となり、総俵数、ライマン俵ともに前年より低くなる結果となりました。



	規格内俵数	10a当たり総俵数	ライマン俵
男爵	42.9 (46.1)	48.1 (53.1)	13.6 (13.9)
メイクイン	47.3 (50.1)	52.0 (60.2)	12.2 (14.0)
トヨシロ	61.8 (63.5)	65.4 (67.8)	15.2 (14.8)
コナヒメ	—	56.5 (65.2)	16.6 (18.5)

※( )内は前年数値

## 廃プラ回収

7月6日に廃プラ回収が、当農協野菜集出荷センターで行われました。ラップフィルム等の農ビ・農ポリ、肥料袋やパックを組合員各自が自宅でパック詰めした後、野菜集出荷センターに持ち込み、担当職員がパック一つずつ確認しながらトラックから降ろしていきました。回収された廃プラは約28tで、主に(株)苦小牧清掃社へ運び込まれ、再資源化され多方面で利用されています。

毎年2回行われている廃プラ回収は、次回11月下旬の予定となっています。

